

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調書

基準年月日 ー

Table with 5 columns: 調書番号, 所管部, 作成責任者, 担当係, 農政部長 磯嶋 光世

I 基本事項(基準日時点)

Table with 4 columns: 事業種別, 地区名, 市町村名, 江別市

Table with 4 columns: 事業費, 負担割合, 国, 道, 市町村, その他

Main project details table including 事業概要, 事業目的・目標, 工事費内訳

Table for 総合計画での位置付け, including 施策名, 総合計画:中項目, 総合計画:小項目

II 公共事業評価経過 (単位:百万円)

Table showing evaluation progress with columns for 事業経緯, 事業費, 総事業費(a), 道負担額, 当該年度事業費, 累計事業費(b), 進捗率(b)/(a)

Table for 変更理由・内容, detailing changes in project volume and costs

III 事業採択前の状況

Table with 4 rows: 1. 事業採択に至る経過と背景, 2. 事業検討の手続, 3. 事業効果を及ぼす地域・対象

Table for 4. 関連する事業, with columns for 事業名, 事業主体, 事業期間, 事業費(百万円), 事業内容

IV 事業の実施状況

Table for 1. 進捗状況, including (1) 事業実績及び今後の計画 and (2) 進捗状況

b a:概ね予定どおり実施している。 b:事業計画・期間等を変更し実施する。 c:問題が生じ、実施に支障をきたしている。

	経済効果の内訳 (百万円)		費用の内訳 (百万円)		B/C	備 考
	項 目	R3現在	項 目	R3現在	R3現在	
2. 事業効果	作物生産効果	2,742	農業用排水路	1,456	1.41	●事業効果は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（農林水産省H30改正）に基づき算出 ●経済効果の合計と費用の合計は「工期+40年」の累計で算出しR3年度に現在価値化している。 ●費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。 ●農業用排水施設と接続する用水施設にかかる費用を「関連施設」として計上している。 ●維持管理費削減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計により、マイナスとなる。
	品質向上効果	594	区画整理	389		
	営農経費削減効果	1,868	暗渠排水	298		
	維持管理費削減効果	△ 123	客土	78		
	国産農産物安定供給効果	347	関連施設	1,617		
	合計 (B)	5,428	合計 (C)	3,838		
	前回算定年度 : H25 (2013年度) 【事前評価】 前回算定時B/C: 1.29 変更理由 : 事業費の増加に伴う費用の増加（農業用排水施設、区画整理、暗渠排水、客土）、事業量の変更による受益面積の増加に伴う便益の増加（農業用排水施設、区画整理、暗渠排水、客土）、国産農産物安定供給効果の計上に伴う便益の増加、算定年度変更による諸係数・単価の入れ替えに伴う精査					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額 (百万円)
	施工の最適化	テラジェット工法による水路道路横断部の施工	20

V 評 価

1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 水利利用の合理化及び維持管理省力化のための水路のパイプライン化やほ場の排水性改善のための排水路及び暗渠排水の整備、作土厚確保のための客土の整備、大型機械の作業効率向上のための区画整理を実施する。 ● 事業の必要性に変化は無く、着実に事業の推進を図る必要がある。 							
	a	a : 事業の必要性に変化は無く予定どおり事業を推進する。 b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。						
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題							
	<ul style="list-style-type: none"> ● 濁水流出防止のために水槽を設置し、土砂を沈降させてから排水する。 ※ 直近の評価以降の状況変化はない 							
	(2) 事業推進に対する住民の動向							
3. 事業達成の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業促進期成会から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。 							
	(3) その他の課題							
	● 特になし							
4. 対処方針	現状では事業進捗に大きな支障となるものは無く、事業は順調に進捗していく見込みである。							
	a	a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b : 課題はあるものの達成は可能である。 c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。						
	事業の必要性に変化は無く、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度（2023年度）の完成を目指し事業継続する。							
事業期間変更の有無		有	事業費変更の有無		有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 有

VI 備 考

1. 評価履歴	事前結果:平成25年度（2013年度）評価 評価結果: 要望を行うことは妥当 B/C=1.29 再評価: 該当なし						
2. その他の取組事項							

補足資料

VII 事業計画変更												
事業経過	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		H27 (2015)	H27 (2015)		H32 (2020)	1	1,080	351				
変更①			H27 (2015)	H27 (2015)	H33 (2021)	2	1,288	419				
変更②				R1 (2019)	R4 (2022)	3	1,617	526				
変更③				R3 (2021)	R5 (2023)	4	1,917	623	201	1,367	71%	
変更④						6						
変更理由・内容		変更①（採択時）：事業量及び事業費の変更、事業工期の変更 ・排水路について、現地調査の結果、暗渠排水落口の切深が確保されていないことが判明したため、整備が必要となったことによる事業量、事業費の増 ・暗渠排水について、整備要望の取り込みによる事業量、事業費の増 ・用水路、区画整理、暗渠排水、客土について、整備単価の見直しに伴う事業費の増 ・事業量、事業費の増に伴い施工期間を精査したことによる事業期間の変更 変更②（第1回計画変更）：事業量及び事業費の変更、事業工期の変更 ・水路について、当該路線において漏水箇所が増加し、隣接する農地に湿害が生じたため、整備が必要となったことによる事業量、事業費の増 ・区画整理について、暗渠排水からの工種移行による事業量、事業費の増 ・暗渠排水について、区画整理への工種移行による事業量、事業費の減 ・自然増及び消費税率（8%→10%）の改正による事業費の増 ・事業量、事業費の増に伴い残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の変更 変更③（第2回計画変更）：事業量及び事業費の変更、事業工期の変更 ・区画整理について、今年度の6～7月にかけて高温少雨により一部の作物において営農への支障や収量の減少が生じたため、かん水の必要性が高まり地下かんがいが可能となる暗渠排水とともに地域の整備水準とあわせて区画拡大の整備が必要となったことによる事業量、事業費の増 ・暗渠排水及び客土について、整備要望取り下げによる事業量、事業費の減 ・自然増及び積算基準の改正による事業費の増 ・事業量、事業費の増に伴い残事業の施工期間を精査したことによる事業期間の変更										

事業概要図

事業名

水利施設等保全高度化事業(水利施設整備事業 (農地集積促進型))

地区名

新美原地区

事業地区位置図

